

福島の子マワリ 大きくなぐれ

中津の住民ら種まき

中津市三光佐知地区の住民たちが、原発事故が起き



畑に子マワリの種をまく住民たち

た福島県の「福島ひまわりプロジェクト」から購入した子マワリの種を畑にまいた。活動の中心になっている地域おこしグループ「竹馬会」は、子マワリの栽培を通じて住民の絆を深めた

いとしている。

竹馬会や老人クラブのメンバーら約50人が、事前に耕して畝を作った約10坪の畑に、5000粒の種をまいた。子供会にも除草を手伝ってもらうなどして8月に満開になるといふ。

佐知地区では2年前から子マワリを植えており、花を見るため大勢の人が訪れる。収穫した種は、ひまわりプロジェクトに送り、交流を続けている。

竹馬会事務局長の相良卓紀さん(57)は「子マワリの手入れは簡単なので、お年寄りも作業に参加しやすい。今年で終わる泥田バレーに代わる名物にしたい」と期待している。